

サーバー向け製品

製品名	ライセンスモデル	ライセンスの考え方・注意事項
Windows Server	コア/CAL	<p>必要なライセンスの数は、対象となる物理サーバー上の物理コアの数になります。ただし、各物理プロセッサにつき最低 8 つのライセンスおよび各サーバーにつき最低 16 のライセンスが必要です。</p> <p>Standardエディションでは、物理サーバーがライセンスを満たすごとに 2 OSE実行可能です。</p> <p>Windows ServerへのアクセスにはCALまたはCALと同等のライセンスが必要です。</p>
SQL Server	Enterprise : コア	<p>必要なライセンスの数は、対象となる物理サーバー上の物理コアの数になります。ただし、各物理プロセッサにつき最低 4 つのコアライセンスが必要です。</p>
	Standard : コア	<p>※SQL Server 2022のリリースに伴い、ライセンスルールに変更がございました。以前は、仮想環境で利用の場合、仮想 OSE 内の仮想コアの数でのライセンス取得が可能でしたが、11/17以降、これは「サブスクリプション ライセンスまたはアクティブなソフトウェア アシュアランス付きライセンスでのみ利用可能」となりました。このため、CSP-Perpetual（永続ライセンス）で提供されるライセンスについては仮想OSEによる取得は不可となりましたのでご注意ください。</p>
	Standard: サーバー/CAL	<p>各ライセンスにつき、ライセンスを取得したサーバー上の物理 OSE または仮想 OSE のいずれかで、サーバー ソフトウェアの 1 つの実行インスタンスを使用することができます。</p> <p>サーバー ソフトウェアへのアクセスにはCALが必要です。</p>